

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1993~1994年度クラブ目標 “出会いを大切にしよう……例会で、みんなが、待っている”

第139回 例会報告 (8/25)

司会者SAA 橋口 洋三



◇点鐘 会長 横倉 舜三

◇ロータリング「我等の生業」

ソングリーダー SAA 吉沢 洋景

◇お客様紹介 会長 横倉 舜三

古川 純香様 (煎茶道清泉幽茗流家元)

落合 允子様 (お茶講師)

藤井 達磨様 (東京多摩RC)

山中 いずみ様 (派遣学生)

網沢 志津子様 (")

◆会務報告 会長 横倉 舜三

①東京稲城ロータリークラブの1000回記念例会が8月19日夜間、読売ランド例会場で行われましたので幹事と共に出席致しました。

②今晚、例会後定例理事会を開催致しますので役員理事の方は出席をお願い致します。主な議題は次の通りです。

- ・9月8日のガバナー訪問について
- ・親睦旅行の件
- ・シンポジウムの件

◆幹事報告 幹事 北村 幸彦

①鹿児島豪水害及びミシシッピー川水害義援金に付いて(ガバナー事務所)

北海道南西沖地震の際には募金のご協力ありがとうございました。2750地区として総額6,911,001円集まり募金が完了致しました。温かいご支援に心からお礼申し上げます。今回の被害もこれに十分匹敵するものと思われるので鹿児島水害に1千円、ミシシッピー水害に1千円、合計2千円程度を目安に募金をお願いしたい。

尚、グアム島の地震による被害に対しては地区資金よりお見舞い金として2,000ドル支出することに致しましたのでご報告致します。

②例会場変更のお知らせ

東京狛江多摩川ロータリークラブ
成城グリーンプラザよりシルク狛江ホールへ変更

③町名地番変更の件

多摩土地区画整理事業の一環として9月1日より町名地番が変更されます、該当される方は事務局まで提出してください。

委員会報告

◆ 出席委員会 委員長 猪股 末男

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日 報告	48	40	0	8	83.33%
前回 訂正	48	41	2	5	89.58%

出席免除者 3名

欠席届出者

萩生田茂夫、伊神 稔、小城 章員、中山 恒武
関岡 俊二、高野 範城、戸田 昭寿、津守 弘範

欠席者

なし

◆ 親睦委員会 委員 赤尾 恭雄

8月25日、例会後に当委員会でニコニコ募金に
着いて、皆さんのご意見を拝聴したい。希望され
る方で意見交換をしたいので、時間的余裕のある
方はお集り頂きたい。 場所 サファイヤ

★★★★★★★★★★
ニコニコ BOX
★★★★★★★★★★

委員 中山順一郎

藤井達磨様 本日はお世話に
なります。

鶴海栄三郎 前回の例会で私
と妻の誕生祝いに
立派なコーヒー
カップを頂き有
難うございました。
私のRC入会の日が
私の誕生日に当
りました。何から
奇縁です。



高村 弘 20日に5番目の子供が15人目の孫(女
の子)を生みました。

遠藤 二郎 遅れてきた夏に

北村 幸彦 古川様ようこそ。卓話楽しみにして
おります。

足立潤三郎 本格的夏ですね。夏はこれでも
ちゃあー

大松 誠二 モンゴル研修生受入に皆様のご協
力、ご援助をお願いします。

吉尾警太郎 明日、涼しくなあーれ

森田 舞子 お客様ようこそ、やっと秋が来て夏
になりました。(もうあきた)

赤尾 恭雄 ロータリアン藤山一郎さんに哀悼の
意を表して。

飯島 裕美 欲張らず程々の所でニコニコしま
す。

大熊 将夫 藤井先生、お暑い中ようこそおいで
頂きました。

吉沢 洋景 今年は、夏風邪が流行っています。
腹の具合が悪くなりますのでご用心
を

中山順一郎 欠席続きで御免なさい。追伸メー
クアップはしています。

以上 合計 36,000円

◆ 社会奉仕委員会

委員長 隅 耕造

TAMAらいふ21協会協賛のシンポジウムに
関しての実行委員会のメンバーを構成した。一応ク
ラブの行事ということで、全員に係わって頂きた
いので委員会で配布させていただいた(別紙通知
済)。足立、海野、永田各会員が実行副委員長に
なり、グループの核になって頂く。それぞれ役割
分担を決めたが、パネラー記念講演をしてくださ
る方々を一層盛上げるためにも、皆さんのご協力
をお願いします。

◆ 世界社会奉仕委員会

委員長 小坂 一郎

先般、世社奉のプロジェ
クトがあったので出席した。
鹿児島の水害、ミシシッ
の水害に対して援助を行
うことが決まった。それぞ
れの被害に対して、会員一
人当り千円の拠出をお願い
したいと思っている。又、バ
ギオ基金についても協力が
決まっているが、理事会
に計って拠出金をきめたい。
予定としては、会員一人
当り五千円程度、クラブ奉
仕としての団体は五万円
となる。



世界的な天変地異の中、困窮している地域も
多く見られるが、この地区大会では、前記水害等に
重点援助が決まった。よろしくお願ひしたい。

◆ロータリー情報委員会

委員長 赤尾 恭雄

来年6月に台湾で国際大会が開かれる。各クラブ共参加希望者が多いので、当クラブも希望者は出来るだけ早く申出をいただきたい。クラブとして訪問団を組織し参加してみたい。国際大会の雰囲気を感じていただきたいので一人でも多くの方のご参加を希望致します。

卓 話 (8/18)

「軍歌歳時記」

報知新聞PR室長 八巻 明彦

・八巻さんの紹介

8月15日は終戦記念日ということで、テレビ、ラジオ等で、いろいろ特集が組まれています。今日お招きしました講師は八巻明彦さんです。八巻さんは、昭和3年宮城県に生まれ、陸軍師官学校の方11期生。東北大学卒業、報知新聞社に入社、文化記者として音楽を担当。現在はPR室長です。今日は軍歌歳時記ということで、お話ししていただきます。軍歌を21世紀に、正しく伝え残したいと考えていらっしゃる。当時の兵隊さんが、愛した歌その元歌等について、テープを聞きながらお話しして頂きます。

・講演内容

ただいま御紹介いただきました八巻です。いま何故軍歌かとか、私にとって軍歌とは何かと言うことについてお話しすると一時間位かかりますので、軍歌一筋35年間馬鹿の一つ覚えということで御理解頂きまして、今日は、変え歌軍歌、兵隊ソングの心ということで皆さんが聞いたことのある歌の実例を聞きながらお話ししたいと思います。

(以下軍歌のメロディーをテープで聞きながらお話しされました。)

- 一曲目・"軍隊小歌"(元歌があります)
- 二曲目・"水兵学校の歌"(元歌、"恋は一筋")
- 三曲目・"ラバウル小唄"(歌、ひばり)

四曲目・"露営の歌"(60万枚も売れた)

五曲目・"特攻隊の歌"

六曲目・"特攻隊ぶし"(元歌、"白頭山ぶし")

七曲目・"同期の桜"(元歌、"戦友の歌")

以上の七曲について、元歌と変え歌、そして変え歌を又変えて、各地で歌った歌、めずらしい美空ひばりの歌った軍歌、そして"同期の桜"の元歌である"戦友の歌"等々。伺っていましたが、全員が引き込まれるように聞き入ってしまい時間が過ぎたことも忘れていました。

八巻さん本日は本当にめずらしい歌を有難う御座いました。

お知らせ

野球同好会 藤本 吉文

9月7日(火)多摩東分区野球大会が、午後6時から府中市民健康グラウンドで行われることになりました。同好会名簿は参加される方にお渡ししてありますのでよろしくお願い致します。

(予想ポジション) (選手名)

一塁手	海野 栄一
一塁手	高村 弘
二塁手	伊神 稔
二塁手	宮本 誠
三塁手	大熊 将夫
三塁手	藤本 吉文
遊撃手	奥木 博勝
遊撃手	若林 滋和
捕手	橋口 洋三
捕手	佐伯 和廣
左(外野)	小城 章員
中(外野)	隅 耕造
中(外野)	菊池 敏
右(外野)	村上 久
右(外野)	中山順一郎
右(外野)	松原 健
投手	高野 範城
投手	大松 誠二

「後から来る人のために」

私は横浜ロータリークラブに所属し、ロータリーの精神に感銘を受け、その活動を生きがいとしております。私が初めてロータリーの名前を聞いたのは大正12年の関東大震災のときであった。このとき、国内はもとより海外からも多くの救援物資が届いたが、そのなかにロータリーからのものもあったのである。

ロータリーは1905年2月23日にアメリカのシカゴで誕生したもので、地域ごとに一業種一人の会員制組織となっている。そしてその目的は社会への奉仕にあり、ロータリーの精神は「寛大」である。ロータリーの創始者であるポール・ハリスはその著書「ジス・ロータリアン・エージ」(邦訳「ロータリーの理想と友愛」米山梅吉訳)のなかで、スコットランドの詩人・ロバート・バーンズの次の詩をあげている。「(大意)おだやかに貴方の兄弟をよく見てみなさい。そしてまた貴方の姉妹をも、彼等には、いろいろと悪い所があるかも知れない。それをいちいちとがめないのが人間らしさというものだ」私はここに寛容の精神の何たるかが現れていると思えて好きなのだが、同書には、「ロータリーの目的は実践にあり、その希望は人生を充実させるところにあり、その哲学は健全な哲学である。ロータリーにはもとより教議として特定したものがないが、常に寛大をもって他に臨む」との一節もある。人はそれぞれ感受性をもっていて、いつでも、誰に対しても「寛大」であることは容易ではないが、少しでもそれに近づこうと努力することに意味があるのではないかと私は思う。

かつて私がガバナーを務めたときの国際ロータリーのエルネスト・インバッサイ・デ・メロ会長にはいろいろ感銘深いお話を伺ったが、そのなかでもイギリスの歴史学者・トインビー博士の言葉「愛と理解と創造」を教えていただき、この言葉に強く感動した。私の人生航路に重要な視点を与えてくれた。それに加えて、ロータリー活動を通じて国内・外に多くの友人をもてたことこそ最大の喜びである。

私は、毎年年頭に絵の書き始めをしている。今年は酉年にちなんで「光明に羽ばたく」と題して、21世紀をめざし、光明に向かって羽ばたく金色の鳳凰を描いた。鳥は暗い闇のなかでも自分が渡っていく鳥を知っているという。それと同じように、人間もたとえ一寸先は闇であっても、その闇の先には必ず光明があることを信じて、今後も後から来る人のために努力をしていきたいと思っている。

我々の大先輩、上野 豊氏が雑誌「商工ジャーナル」で「我が人生我が事業」の表題で掲載された文章で感銘を受けた部分をご紹介します。

氏は、昭和51年に、国際ロータリー2590地区のガバナーとなり、以後国際ロータリーのアジア諸問委員、国際ロータリー財団理事、機関誌編集委員長、国際ロータリー財務委員などを務められる横浜R.Cの会員であられる。

田中 実

行事予定

※9/8 ガバナー訪問

クラブ協議会の為全員出席願います

東京多摩グリーンロータリークラブ



会長：横倉 舜三 副委員長：森田 舞子
幹事：北村 幸彦 委員：海野 栄一・奥木 博勝・吉沢 洋景
会報委員長：小島 周二郎 小坂 一郎・佐伯 和廣

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30